

いちょうの樹勢回復措置（2024 年 4 月～6 月実施）について

神宮外苑地区まちづくり（以下「本計画」という。）におきましては、今般、いちょうの生育環境をよりよくするための樹勢回復措置を実施いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

プロジェクトサイト（※）等でもご説明の通り、4 列のいちょう並木は、内側 2 列を東京都、外側 2 列を明治神宮が所有・管理しておりますが、いずれも移植・伐採等することなく保全いたします。なお、今回実施した樹勢回復措置は、2023 年に実施した 4 列のいちょう並木の活力度調査の結果を踏まえ、明治神宮が所有・管理する西側の一部のいちょうに対するものとしております。

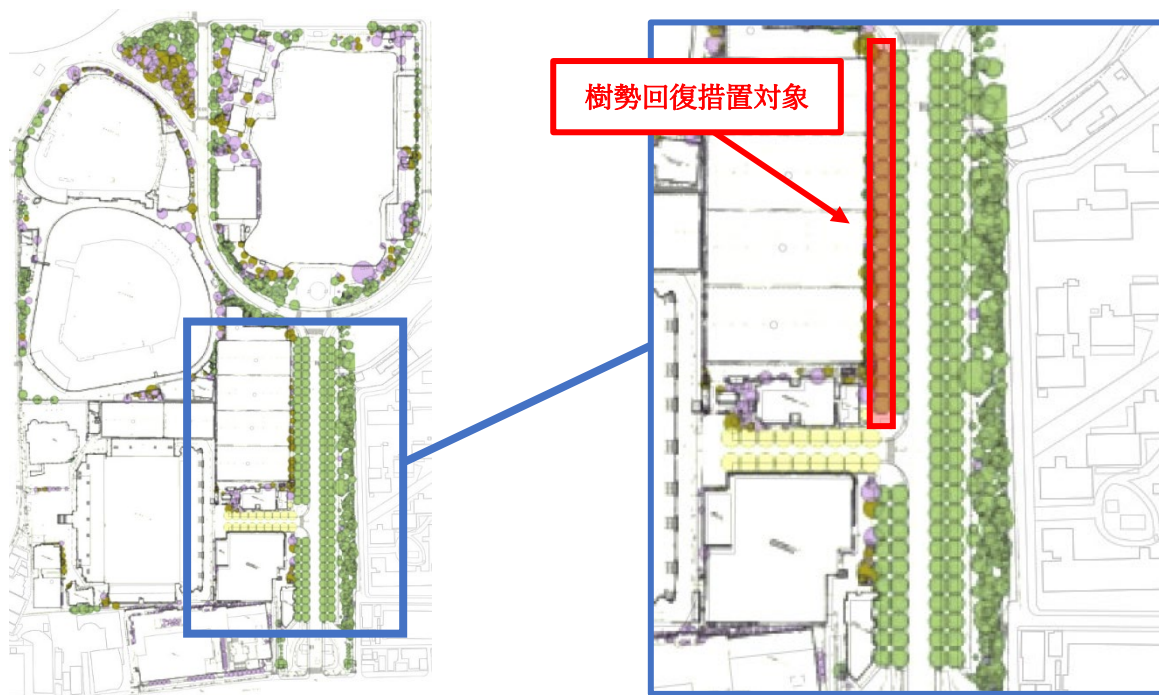
事業者といたしましては、引き続き樹木の状況を確認し、樹木医等専門家のご意見を伺いながら、本プロジェクトを進めてまいります。

※樹木の取扱いについて（神宮外苑まちづくりプロジェクトサイト）

<https://www.jingugaienmachidukuri.jp/green/>

1. いちょうの樹勢回復措置について

2024 年 4 月より、以下エリアの赤枠部分のいちょうに対し、6 つの樹勢回復措置を実施いたしましたので、各措置の内容についてご説明いたします。



(1) ヘデラ・下草の除去

いちょうの根系域上層に植えられているヘデラカナリエンス（以下「ヘデラ」という。）は極めて生育旺盛な植物であり、いちょうへの水分供給に伴う競合ストレスを避けるため、いちょうの根を傷つけないよう注意しながら下草とともに撤去いたしました。

■除去前



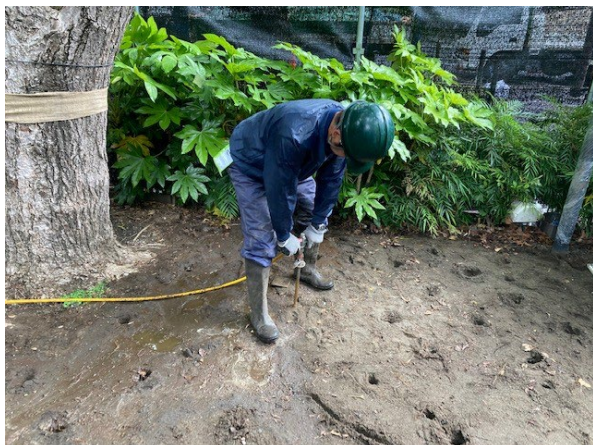
■除去後



(2)水圧穿孔による土壌改良

土壌調査の結果、土壌の硬さと固結部分の存在が明らかとなりました。対策として、いちょうの根がより伸長しやすい環境となるよう、いちょうの根を極力傷めずに土壌を膨軟化するための水圧穿孔による土壌改良を実施しました。

■水圧穿孔の様子



(3)稲ワラマルチ設置

特に夏期の土壌の乾燥を防ぎ、秋期・冬期の保温のため、稲ワラマルチを設置いたしました。

■設置前



■設置後



(4) 灌水設備設置

いちょうの根系に十分な水分を供給するため、自動で定期的に水分供給が可能な灌水設備を設置いたしました。

■ 灌水装置



■ ホース敷設

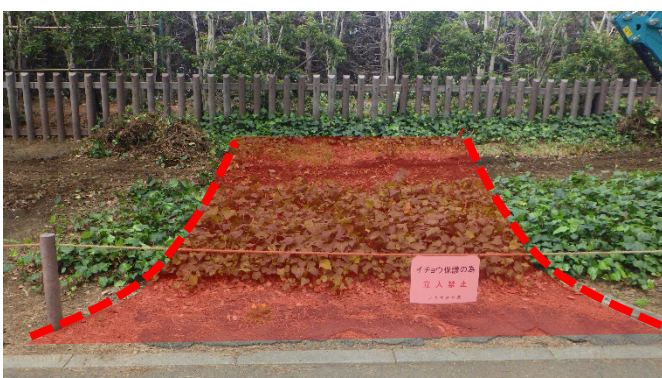


(5) 旧通路舗装基盤の撤去

現在のテニスコートが建設される前に敷設された旧通路について、根系伸長の分断・阻害の原因となっていることから、いちょうの根を傷つけないよう慎重に舗装基盤を撤去し、良質土にて埋戻しを行いました。



■ 着手前



■ 舗装基盤の解体



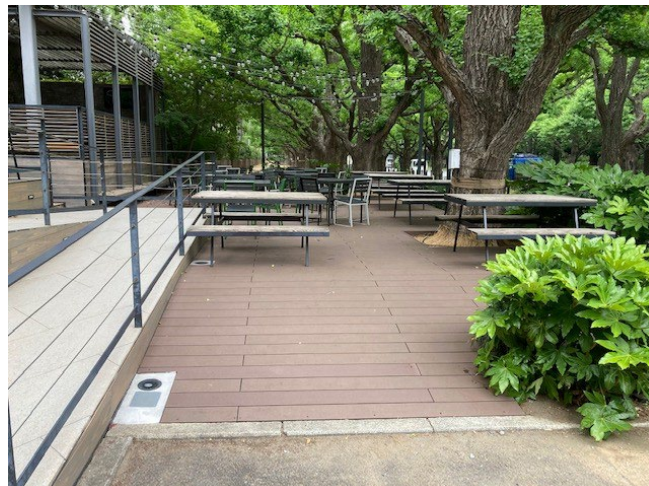
(6) いちょう並木沿道店舗内ウッドデッキ設置

店舗テラス部分のインターロッキングブロックを撤去し、いちょうの根系生育環境改善のための水圧穿孔による土壌改良、さらに乾燥防止のための稲ワラマルチ・灌水設備の設置をした上で、いちょうの根系への踏圧対策を目的として浮き床構造のウッドデッキへ変更いたしました。

■設置前



■設置後



2. いちょうの調査について

1. の樹勢回復措置の効果及び長期的な経過を把握するため、以下の調査を実施いたします。

(1) デンドロメーターの設置

2024年4月に8本のいちょうに対してデンドロメーターを設置いたしました。デンドロメーターは幹周を測定する観測装置であり、幹周は樹体の状況が最も顕著に表れるため、いちょうの生長量の把握及び樹勢回復措置に伴う効果の確認が可能となります。なお、デンドロメーターの設置によるいちょうの生育への悪影響はございません。

■デンドロメーター



■設置後のいちょう



(2) 土壌水分量の調査

西側 1 列のいちよう付近において、定期的に土壌水分計による土壌水分の計測を行います。計測することにより、土壌水分の過剰・適湿・乾燥が把握でき、灌水間隔・灌水量が適正かどうかの把握が可能となります。

■ 測定の様子



以上